

2019年 交通安全年間スローガン

(敬称略)

- **一般部門(A) 内閣総理大臣賞(最優秀作)**
【運転者(同乗者を含む)へ呼びかけるもの】
チャイルドシート ちいさなVIPの 指定席
大石 浩晶 (大阪府高槻市)
- **一般部門(B) 内閣総理大臣賞(最優秀作)**
【歩行者・自転車利用者へ呼びかけるもの】
危険だよ スマホに夢中の その君
藤原 一也 (兵庫県加古川市)
- **こども部門(C) 内閣総理大臣賞(最優秀作)**
【中学生以下へ交通安全を呼びかけるもの】
とび出さない いったんとまって みぎひだり
荒川 愛梨 (栃木県小山市立豊田北小学校3年)

平成30年中 交通死亡事故発生状況

区分	年別	平成30年	平成29年	増減数
死亡事故件数		82件	83件	-1件
死者数		87人	86人	+1人

平成30年中の交通事故死者数は87人で、一昨年より1人増加しました。
交通死亡事故の特徴を見ますと、全死者数のうち高齢者の死者が57人(65.5%)で、高齢者が15年連続4割以上を占めています。
歩行中や自転車利用中などの交通弱者は39人(44.8%)、飲酒運転は、一昨年と比べ2件減少の3件でした。
また、四輪乗車中の死者35人中シートベルト非着用者は19人(非着用率54.3%)で、このうちシートベルトを着用していれば助かった死者は12人と推定されます。

あなたのやさしさ～交通安全を願って気持ちをカタチに～

私たちと一緒に悲惨な交通事故をなくし、一人でも多くの命を守るための活動をしませんか

- 三重県飲酒運転をめざす啓発「リレーイベント」の開始宣言
- 子ども自転車三重県大会
- 交通安全・環境フェスタ2018 (miemu)
- 三重中央自動車学校による交通安全教室
- 訓練犬との交通安全教室
- 新入学児童へのランドセルカバーの贈呈
- 三重県交通安全協会 協賛店のサービス

- ★ **運転者会員**
3年会費...1,500円 5年会費...2,500円
※ 途中入会の方は、免許の有効年の残り年数1年当たり500円となります。
- ★ **賛助会員**
当協会の活動に賛同していただく事業所・団体及び個人の皆様にご協力いただいております。

..... 運転者会員の皆様へ協賛店サービス

- 当協会にご入会いただきました会員様には、次の特典があります。
- 交通事故入院見舞金の交付
 - 入会記念品の贈呈
 - 「会員の店」において「会員のための特典」の提供(約1,000店舗)
(飲食店ほか各種店舗、ホテル、レジャー施設での割引特典)
 - 優良運転者等の表彰(表彰は30年、40年、50年)
 - 交通安全賞章(金・銀・銅)の受賞手続き

会員の店携帯サイトアドレス
<http://www.mie-ankyo-mise.com./mobile/>

この表示がある店舗が協賛店です。
【QRコード】

三重県交通安全協会では、「賛助会員」へのご加入をお願いしています。詳細は各地区交通安全協会へお問い合わせください。

(一財)三重県交通安全協会

交通安全みえ

2019 / 新年号 No.210

発行所 (一財)三重県交通安全協会
三重県交通安全活動推進センター
(三重県公安委員会指定)
〒514-0004 津市栄町1-954
三重県栄町庁舎5F
TEL 059-228-9636
URL <http://www.mie-ankyo.com/>

新年のごあいさつ



新年あけましておめでとう
ございます。
皆様におかれましては、御家族お揃いで輝かしい新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。
平素は、三重県交通安全協会の交通安全活動等に深い御理解をいただき、格別の御支援、御協力を賜っておりますことに厚く御礼を申し上げます。

(一財)三重県交通安全協会 会長 余野部 克治

さて、昨年の交通事故情勢であります。総事故件数、人身事故件数及び負傷者数は前年より減少いたしました。これは、県民の皆様一人一人が、交通事故防止に、より一層強い関心を持っていただいたことに加え、交通事故防止に向けて力強く取組まれている関係者の皆様方の多大な御尽力によるものと改めてその御労苦に対して心から感謝申し上げます。
昨年の全国の交通事故死者数は3,532人(一昨年対比マイナス162人)、三重県の交通事故死者数は、一昨年比べて1人増加の87人の方が交通事故で亡くられています。
昨年中の、交通死亡事故の特徴は

- 65歳以上の高齢者の死者数が全体の6割以上を占めている
- 歩行中や自転車乗用中など交通弱者の死者が4割を超える
- 四輪乗車中の死者のうちシートベルト非着用者が5割を超える

などが認められ、依然として厳しい情勢にあります。このような厳しい情勢の中、当協会に課せられた使命は重大で、関係機関・団体と連携し、交通事故防止に直結する各種対策を強力に推進していかなければな

りません。喫緊の課題である高齢者の交通事故防止対策は、本年も高齢者の方々の交通安全意識の向上を図るための各種講習会の開催や高齢者宅訪問指導活動を推進し、更には反射材の普及促進をはじめ、街頭啓発、各種イベントなど地域の実情に即した活動を展開していきます。
このほか、幼児・児童に対する交通安全教育、自転車安全利用に関する広報啓発活動、交通弱者の交通事故防止に重点を指向した活動、横断歩道における歩行者優先の広報啓発活動及びシートベルト着用の広報啓発活動なども推進していきます。
また、飲酒運転の根絶を図るため、「三重県飲酒運転0をめざす条例」に基づき、当協会が、従前から推進している「ハンドルキーパー運動」を飲酒運転根絶の県民運動として定着できるように、引き続き、関係機関・団体及び酒類提供関係者等と連携して推進していきます。
平成28年7月に策定された「第10次三重県交通安全計画」は、道路の安全についての目標を計画最終年(2020年)までに交通事故死者数55人以下、死傷者数7,300人以下と示されています。
又、みえ県民ビジョン・第二次行動計画では、平成31年末までに交通事故死者数を60人以下に抑えるという目標を掲げております。
三重県交通安全協会は、この目標に向かって関係機関・団体との連携を一層緊密にして、県下約4,000人のボランティアの方々とともに努力し交通安全思想の更なる普及、浸透に努力して参ることとしておりますので、本年も皆様の一層の御指導、御支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。
結びに、本年が皆様にとりまして幸多き年でありますよう、心から御祈念申し上げ新年の御挨拶とさせていただきます。

2019年 年間重点目標等

- ◆ **年間運動**
思いやりとゆずりあいので
交通事故をなくす年間運動
1月1日(火)～12月31日(火)
- ◆ **年間重点目標**
 - 1 高齢者の交通事故防止
 - 2 子どもの交通事故防止
 - 3 横断歩道における歩行者優先の徹底
 - 4 シートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
 - 5 飲酒運転の根絶
 - 6 自転車の安全利用の推進
 - 7 夕暮れ時の早いライト点灯の推進
 - 8 反射材の普及促進
 - 9 その他、特に定めて取り組む事項
- ◆ **各季運動等**
 - 【春の全国交通安全運動】
5月11日(土)～5月20日(月)
 - 【夏の交通安全県民運動】
7月11日(木)～7月20日(土)
 - 【秋の全国交通安全運動】
9月21日(土)～9月30日(月)
 - 【年末の交通安全県民運動】
12月1日(日)～12月10日(火)
 - 【夕暮れ時、早いライト・オン運動】
10月1日(火)～12月31日(火)
- ◆ **日を定めて行う運動**
 - 【交通事故ゼロを目指す日】
全国交通安全運動期間中に実施予定
【交通安全の日】
毎月11日
 - 【高齢者の交通安全の日(敬老の日)】
毎月21日
 - 【自転車安全対策強化日(5・S・P・日)】
毎月第一月曜日
 - 【三重県飲酒運転0をめざす推進運動の日】
毎年12月1日

年頭のごあいさつ

三重県警察本部 交通部長 伊藤 正彦



新年明けましておめでとうございます。一般財団法人三重県交通安全協会並びに会員の皆様には、輝かしい新年を迎えられたことと心からお慶び申し上げます。

旧年中は、皆様には、警察行政の各般にわたり、格別の御支援、御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、貴協会には、年間を通じた街頭啓発活動を始め、高齢者交通安全アドバイザーによる高齢者宅訪問指導、交通安全アドバイザーによる幅広い年齢層を対象とした地域での交通安全教育活動、飲酒運転の根絶に向けたハンドルキーパー運動の推進など、多種多様な交通安全活動を通じて、本県の交通事故抑止に多大な御尽力を賜りまして、重ねて御礼申し上げます。

さて、昨年の三重県内における交通事故情勢を振り返ってみますと、死者数の内訳では、高齢者の割合が過去に例を見ないほど高くなったほか、歩行中、自転車乗用中の交通弱者の割合や、自動車乗車中でのシートベルト非着用者の割合が依然として高くなっています。また、死亡事故等

重大事故につながる飲酒運転による人身事故が前年より増加するなど、悲惨な交通死亡事故等をさらに減少させていくためには、まだまだ多くの課題が残っている情勢にあります。

このような情勢を踏まえ、三重県警察といたしましては、本年も引き続き、子供と高齢者に対する交通安全教育を始め、信号機のない横断歩道等における交通弱者の保護、シートベルト等の着用促進を図るとともに、飲酒運転の根絶に向けた広報啓発等と指導取締りを的確に組み合わせた諸活動を着実に推進してまいりたいと考えております。

しかしながら、飲酒運転や交通事故を抑止し、安全で安心な三重を実現するためには、これまで以上に貴協会を始めとする関係機関・団体等との連携を深めることが必要であり、官民一体となった総合的な交通事故抑止対策をさらに推進していくことが不可欠であります。

貴協会の皆様には、引き続き、地域における「交通安全活動のリーダー」として、なお一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、貴協会の益々の御発展と皆様の御健勝を祈念申し上げ、年頭の御挨拶とさせていただきます。



北から南から ~各地区の活動をご紹介~



反射材着用キャンペーン活動



大型店舗前での広報啓発活動



自転車反射材の取り付け活動



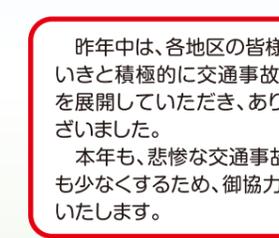
シートベルトチャイルドシート着用推進モデル店指定式



光らせナイト啓発活動



三重県飲酒運転ゼロをめざす推進運動



自転車安全利用強化日における活動



軽トラ40台広報啓発パレードの実施



ハンドルキーパー運動推進モデル店委嘱式



メッセージボードによる広報啓発活動



自転車安全利用強化日における活動



軽トラ40台広報啓発パレードの実施

昨年中は、各地区の皆様にはいきいきと積極的に交通事故防止活動を展開していただき、ありがとうございました。本年も、悲惨な交通事故を1件でも少なくするため、御協力をお願いいたします。



平成30年度 三重県交通安全県民大会 開催

平成30年12月8日(土)津市サンヒルズ安濃ハートホールにおいて「平成30年度三重県交通安全県民大会」が開催され、「交通安全全功労者表彰」、「中部管区警察局長・中部交通安全協会協議会長表彰」、「全日本交通安全協会会長表彰」及び、「第15回交通安全俳句・川柳作品コンクール」等の受賞者が栄えある表彰を受けられました。また、本年は、内閣府交通安全全功労者表彰を受賞された小森文勝氏の披露も行われました。そして、交通事故ゼロ・飲酒運転0に関する啓発イベントとして、よしもとクリエイティブ・エージェンシーの「オレンジ・トラッシュユスター」が司会をして、会場を盛り上げていました。受賞者(団体)は次のとおりです。(敬省略)



- ◆三重県交通安全全功労者表彰 (敬省略)
 - 個人の部
 - ・福山 忠夫 (津市)
 - ・木下 慶子 (津市)
 - ・神谷 任男 (四日市市)
 - ・藤井 浩之 (四日市市)
 - ・関村 豊子 (桑名市)
 - ・毛利 勲 (桑名市)
 - ・寺嶋 敏典 (亀山市)
 - ・杉山 紀之 (伊賀市)
 - 団体の部
 - ・名張地区交通安全協会女性部
- ◆平成30年度飲酒運転根絶に関する功労者表彰
 - 団体表彰
 - ・公益社団法人 三重断酒新生活会
 - 個人表彰
 - ・小森 文勝 (四日市市)

- ◆中部管区警察局長
 - ・中部交通安全協会協議会長連名表彰
 - 交通安全全功労者
 - ・若林 一宏 (亀山市) 以下14名
 - 優良運転者
 - ・新 武則 (伊勢市) 以下33名
 - 交通安全活動功労団体
 - ・北勢運送株式会社(桑名市)
 - ・株式会社 ADEKA 三重工場(東員町)
- ◆(一財)全日本交通安全協会会長表彰
 - ・交通安全功労者
 - ・交通栄誉章「緑十字銅章」
 - 交通安全全功労者
 - ・岩本 崇 (熊野市) 以下58名
 - ・東出 美由紀 (伊賀市) 以下14名
 - 優良運転者

第15回交通安全俳句・川柳作品コンクール

最優秀賞

俳句

一般の部

学生の部

川柳

一般の部

学生の部

「ただいま」とげんきなこえが

ききたいいな

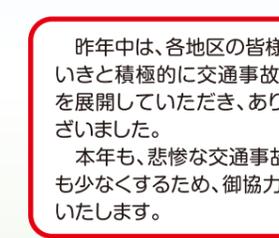
- ・春の雷ながらスマホを叱ること (田村 米生)
- ・妹よチャイルドシート いやがるな (仲 祐成)
- ・標識を覚えて防ぐ 認知症 (井ノ上 揖男)
- ・「ただいま」とげんきなこえがききたいいな (田中 芹奈)



光らせナイト啓発活動



大型店舗前での広報啓発活動



自転車反射材の取り付け活動



シートベルトチャイルドシート着用推進モデル店指定式



ハンドルキーパー運動推進モデル店委嘱式



メッセージボードによる広報啓発活動



自転車安全利用強化日における活動



軽トラ40台広報啓発パレードの実施



シートベルト着用促進キャンペーン活動



大型店舗前での広報啓発活動



夕焼け小焼け交通安全キャンペーン活動



ハンドルキーパー運動推進モデル店指定式



カーブミラークリーン作戦活動



シートベルト着用推進モデル事業所の指定式



交通安全キャンペーン活動



高齢者宅訪問活動